

三島工業団地ニュース

No.22 令和3年3月1日

Vol.42 三島工業団地協同組合

静岡県内主要産業の景況は、輸送機器関連など製造業を中心に持ち直しが続いていたが、昨年末から年明けにかけて全国的に新型コロナウイルスの第3波が襲来、首都圏を中心に緊急事態宣言が再度発出され、経済活動の下振れが懸念されている。その後、感染者数の減少や医療従事者へのワクチン接種の開始もあいまって、今後の景気回復が期待されるものの予断を許さない状況は続くものと思われる。

以下は静岡経済研究所が発表した県内主要産業の「1～3月期景況見通し調査」の概要です。

2021年1～3月期 静岡県内主要産業四半期見通し調査一覧表

業 種	業 界 天 気		売 上 高 (前年同期比伸び率)	主 要 産 業 の 見 通 し
	現況 (10-12月)	見通し (1-3月)		
製 紙		→	↘	業務用需要の低迷で、前年水準を下回る
食 品 ・ 飲 料		→	↘	巣ごもり需要で堅調に推移するが、好調だった前年には及ばず
工 作 機 械		→	↗	中国向けが受注をけん引、水準は低いが緩やかな回復基調へ
民生用電器部品		→	↗	暖房需要の増加で、家庭用エアコンは前年をやや上回る
自 動 車 部 品		→	↘	軽関連を中心に堅調に推移、トヨタ向けは前年を上回る
二 輪 車 部 品		→	↗	内外需とも増加し、前年を上回る水準で推移する見通し
建 設		→	↘	公共は防災・減災の土木工事発注で前年並み、民間は低調
住 宅		→	→	受注は回復傾向、着工戸数も前年並みを確保
大 型 小 売 店		→	→	総合スーパーは巣ごもり消費で堅調、百貨店は低迷
自 動 車 販 売		→	→	トヨタ系が伸長するも、全体では前年並みの水準となる見通し
物 流		→	↘	トラック輸送量は前年並み、倉庫の荷動きは低調に推移
情 報 サ ー ビ ス		→	→	デジタル化需要は底堅いものの、新規受注に陰り
人 材 派 遣		→	↘	専門スキルの高いIT系は需要が増加するも、製造向けは低迷
観 光 ・ レ ジ ャ ー		→	↘	緊急事態宣言の再発出で、年明けも前年割れは避けられず
外 食		→	↘	新年会などのイベントの中止で、厳しい経営環境が続く

表の見方

業 界 天 気				売 上 高	
	好 調		低 調	↗	非常に増加(+10%以上)
	順 調		不 調	↗	増 加 (+3~+9%)
	普通			→	横 ば い (+2~▲2%)
				↘	減 少 (▲3~▲9%)
				↘	非常に減少(▲10%以上)